

(臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 整形外科手術後の弾性ストッキング着用による MDRPU の発生状況に関する調査

[研究責任者] 相模原病院 看護部 職名)看護師長 金井久人

[研究の背景]

当院は免疫異常の高度専門施設として、リウマチ疾患をもつ患者さんが多数通院しています。整形外科治療を受けられる患者さんにおいて、リウマチ合併の有無と MDRPU(医療関連機器褥瘡)発生の要因を明らかにし、皮膚トラブルの発生について関連が見られれば、リウマチ患者さんに対する皮膚トラブル予防の啓発や弾性ストッキングによる MDRPU 発生防止に向けた看護援助を提言できる可能性があると考えています。

[研究の目的]

整形外科手術後の弾性ストッキング着用による MDRPU の発生状況について、リウマチの合併やステロイドの内服、術後経過日数などとの関連を調査し、MDRPU 発生防止に向けた看護援助の可能性を示します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2017年7月から2022年6月までに当院でTKA(人工膝関節全置換術)、THA(人工股関節全置換術)、UKA(人工膝関節単顆置換術)を受けた患者さん

●研究期間：2024年2月29日から2024年12月31日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、血液データ(TP・ALB・CRP)、内服薬としてステロイド服用の有無、MDRPU 発生日、日常生活動作、術式、腓腹部のサイズ、弾性ストッキングの着用サイズ、リウマチ発症年、リウマチによる関節変形の有無
検体の利用はありません

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の参加について]

この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院

1 南病棟 看護師長 金井久人

電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314